



明木公民館だより

《平成25年12月1日号》

2013.11.26

発行・編集/明木公民館 TEL 0838-55-0001

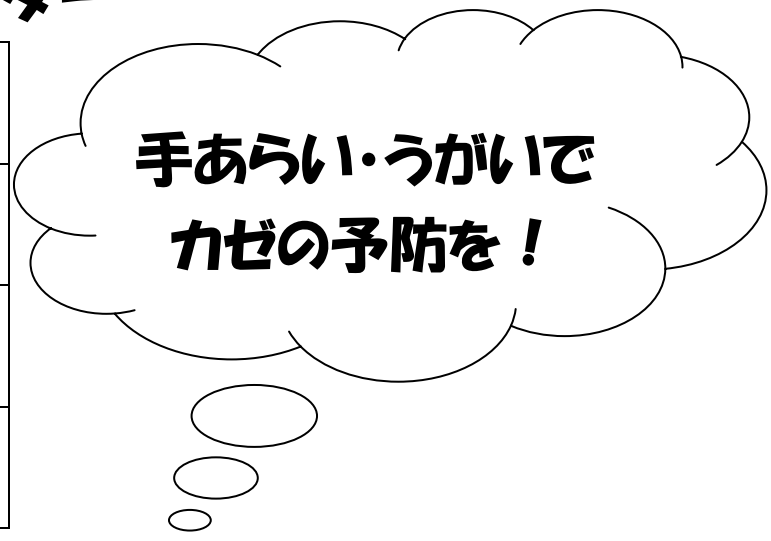
おめでとうございます！明木緑声会が「萩市教育功労賞」を受賞

市報「HAGI」11月15日号に掲載されましたが、明木緑声会が、謡曲（能楽・観世流）をとおして地域文化の向上と古典芸術の普及に貢献し、毎年3月に観世流謡曲仕舞会を開催するなど地域文化の振興に多大な貢献があるとして、萩市教育功労賞を受賞されました。

近年は明木神社での奉納や敬老会での披露など地区内での活動範囲が広がり、また、今年3月の仕舞会では、山口県指定無形文化財第1号の「山口鷺流狂言」が山口から駆けつけた保存会により上演されるなど、昭和38年の設立以来50年の活動があればこそその活躍・飛躍をされています。

12月上旬の行事予定 会場：マルチメディアセンター

3日（火）	13:30~15:30	心配事相談所
4日（水）	10:00~12:00	脳の健康楽習会
8日（日）	9:00~13:00	母親クラブクリスマス会
11日（水）	10:00~12:00	脳の健康楽習会



チャリティーとは・・・

11月30日（土）に旭マルチメディアセンターで開催の彦六・又十郎四百年祭。当日、主催者の彦六・又十郎四百年祭実行員会が来場者の皆さんに準備するチャリティーランチは、昼食を無料で提供し、食事をした方の「気持ち」を今年7月28日の集中豪雨で被災した地域への復興支援募金箱に入れていただくというものです。

そもそもチャリティー (charity) とは、**慈愛・博愛・同胞愛**または**慈善**の精神に基づいて行われる公益的な活動・行為もしくはそれを行う組織のこと。世界各地にチャリティーの活動・組織があり、日本では明治時代に西洋からチャリティー精神が紹介されるとキリスト者や実業家らによる西洋流のチャリティーが展開しました。その後、財界でチャリティー活動が活発化し、第二次大戦前までは皇室と財閥が中心となって日本のチャリティー活動を牽引しましたが、戦後は政府が福祉国家政策を推進するようになりました。現在は歳末助け合い運動・海外助け合い運動、赤い羽根共同募金（毎年10～12月）、あしなが募金（交通遺児への支援）、チャリティーショー・チャリティーコンサート、大規模災害発生時の日本赤十字社や地方自治体、マスコミ傘下の社会福祉事業団・基金など公的組織による募金（義援金）受付、インターネットを通じて行うクリック募金などがあります。

400年前、殿様のほうびとして明木の里人の願いを申し出た彦六・又十郎を思い、「分かち合い（愛）」「支え合い（愛）」について考えてみてはいかがでしょうか。参考：wikipedia

明木地区農業文化祭

11月17日（日）の農業文化祭は雨のち晴れの天気。

スタートは館内で、雨が上がってからは屋外ステージで、各団体の発表やイベントを開催しました。

今年ならではのプログラムを中心に、笑顔あふれる充実の一日を紹介します。



今年のオープニングは銭太鼓さくら会のみなさん！



↑ あさひ保育園年長組のカラーガード

← 今年は萩ニャンが来てくれました



ゲストは大道芸のニャン太さん



↑ 明木小5・6年生10人の名演技「彦六・又十郎伝説」

← 農業文化祭に初登場！
大人気だった野菜の詰め放題は、人参・じゃがいも・玉ねぎ・きゅうりを袋に詰めて目方の一番重い人が優勝というルールでハカリに視線が集中



会場には笑顔がいっぱい



↑ 福祉の市も大にぎわい

フィナーレは恒例の餅まき →



いいもの見つけた！

準備や片付けを手伝ってくださった皆さん、ありがとうございました。

今年もたくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。